



(様式 3)

令和 7 年度 みんなが主役！しまねの公民館支援事業 実績報告書

市町村名	安来市	公民館等の名称	十神交流センター
------	-----	---------	----------

事業の目的	<p>地域住民と今後の活動の方向性を話す中で「男性は役割や学びがある会の方が参加しやすいのではないかと」の意見があった。そこで、地域の子どもの居場所づくりやイベントを行う中で必要となるリスクマネジメントへの協力を呼びかけることで、運営スタッフの確保、特に男性の参加を促し、地域活動の継続と活性化を図り、地域住民同士のつながりを強めたい。また、子ども達の居場所を安全に運営し、より豊かな体験を提供したい。</p>
事業の実施期間	<p>1年目・2年目</p>
事業の内容	<p>○事業の対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民（主に地域活動の運営を担う地域住民（特に男性）） <p>○活動の内容</p> <p>交流センター事業の内容を地域の方と相談するため「十神子どもサポーター企画運営会議」を年 8 回開き、事業の内容や研修の日程決めを行い希望者を対象に研修を開催するとともに、研修の成果を実践できるような事業を行った。</p> <p>またその様子を撮影し、より多くの地域の方の参加を促すため募集チラシを作成、配布した</p> <p>〔・実施した研修〕</p> <p>①救急法（11月6日）「救急法講習会」 講師：日本赤十字社島根県支部 富田 真澄さん</p>  <p>14名参加（うち男性4名） 内容：十神小学校児童対象の事業「寺子屋とかみ」を安全に行うため、ケガの応急手当、緊急時の通報の仕方、AEDの利用法を学んだ</p> <p>②バルーンアート講座（8月20日） 「バルーンアートに挑戦！」 講師：YOUHEI（バルーンパフォーマー佐藤洋平さん） 16名参加（うち男性5名） 内容：ハートや剣、犬など簡単なバルーンアートと、子ども達が喜ぶパフォーマンスの進行の仕方を学んだ</p>  <p>〔・事業における実践〕</p> <p>①救急法 研修後の11月10日、R8年3月24日の子ども向け事業の運営、企画に生かした</p> <p>②バルーンアート 夏休みの寺子屋夕涼み会（8月22日）お化け屋敷&縁日のイベントで、研修を受けたサポーターがバルーンアート体験コーナーを作り中学生ボランティアと一緒に子どもたちにバルーンアートを教えた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十神地区文化祭（10月25日、26日）の十神子どもサポーターコーナーでバルーンアート体験会を実施（男性2名、女性1名）。講師の佐藤さんもお招きし、文化祭のステージでパフォー

	<p>マンス後、サポーターコーナーへ移動しサポーターと一緒にパフォーマンスを行った。また、R8年3月24日（予定）の子ども向け事業においてもバルーンアートを実施することとしている。</p> <p>①②、また各事業の活動の様子を撮影し、十神こどもサポーター募集チラシを4,000部作成、文化祭など様々な機会配布を行った。また、館報の全戸配布の対象にならないアパート等の住民へも宣伝するため、ポスティングを2,035部依頼した（3月中に実施完了予定）</p> <p>[集うためのしかけ・工夫]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに様々な体験を提供し、また安全に過ごすためにボランティアが必要なので助けて下さいと地域の方に声かけをし、「十神こどもサポーター」としての研修受講を促した ・研修後、学んだことを生かして活動しませんかと声かけをし、こども向け事業の夏休みの寺子屋夕涼み会や文化祭でバルーンアート体験コーナーを設け、運営を一任した <p>[楽しむためのしかけ・工夫]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方からの意見を元に研修を行い、その研修を生かして活動することで達成感を得られた ・会議で意見を交換したり一緒に活動することで地域住民同士のつながりが強まった <p>○関係機関との連携（他館、他部局、公民館担当課との連携等についてお書きください）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前救急法の研修を受講されていた安来市親子交流センター（安来市社会福祉会）に電話し、赤十字社の講師を紹介していただいた
<p>活動の様子などを周知した方法</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 館報 2 公民館ホームページ 3 SNS 4 その他（具体的に 活動紹介&募集チラシの配布）
<p>成果・効果 課題 今後の見通し</p>	<p>「期待する成果・効果」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学び」があるということと、「地域の子どもたちのため」と強調することで男性の参加者が増加した ・研修を受けることでリスクマネジメントへの意識が高まり、事前に危険な場所について必要なボランティアの人数、配置等について地域住民同士で話し合う姿が見られた ・バルーンアートを通して世代間で共通の話題ができ、イベント参加者の小学生や中学生ボランティアとのつながりが深まった <p>「課題」</p> <p>地域住民同士で意見交換をする時に、意見の伝え方や話し合いがうまくいかない場面が見られた。今後はコミュニケーション能力の向上も目指す</p> <p>「今後の見通し」</p> <p>今年度中に行えなかったレクリエーション研修（レクリエーション協会に依頼）を行い、コミュニケーション能力向上のためにアンガーマネジメント研修、ハラスメント研修を開催予定。子どもたちと地域住民が関わるために必要なスキル向上のための研修も行う（バルーンアートの応用編、簡単な工作教室等）</p>